

シラバス(指導と評価の年間計画)

| | | | | | |
|-------|------------------|-----|------|-----|---|
| 教科名 | 地理歴史 | 科目名 | 日本史B | 単位数 | 4 |
| 使用教科書 | 高校日本史B (実教出版) | | | | |
| 副教材等 | プロムナード日本史 (浜島書店) | | | | |

1 学習の到達目標

日本史の学習を通じて、次のような力や知識を身につけましょう。

- 1) 日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連つけて総合的に考察することができる。
- 2) 日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身につける。

2 授業の進め方

- 1) 板書を使用した基本的事項を扱う授業と、ワークシートや視聴覚教材を活用し、自ら思考し判断する力を身につけられる授業を行います。
- 2) 単元ごとに確認検査を行い、知識や理解に偏ることなく、自ら思考し判断する力が身につけられる問題を取り入れます。

3 学習の留意点

- 1) 歴史を考察するには「なぜこうなったのか」「いつから始まったのか」「どのように変化して現在に到ったのか」など、常に問題・課題意識を持って授業に取り組みましょう。
- 2) 講義室を使用する場合も教科書とノートは必ず使用します。また、板書は白・赤・黄の3色を基本とするため、色ペンを準備してください。授業中のワークシートは終了後、教科担任に提出してください。
- 3) 家庭学習の定着を目的として、週末や長期休業等に課題を課すことがあります。

4 評価の方法

- 1) 日本史については、以下の4つの観点を基本として、到達目標等に照らし合わせて総合的に評価します。

| | 【A】 関心・意欲・態度 | 【B】 思考・判断・表現 | 【C】 資料活用の技能 | 【D】 知識・理解 |
|--------|---|--|---|--|
| 観 点 | 日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。 | 歴史の事象や歴史の構造に問題を見だし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできる。また、それを表現することができる。 | 日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価点の内容 | ワークシート・グループワーク・授業ノート、 単元ごとの確認検査、長期休業中の課題等 | | | |

- 2) 定期検査の成績、ワークシート、レポートなどの提出物、グループワーク等の発表での状況、その他学習活動への参加状況などで評価します。また各観点についてはそれぞれ4段階で評価し数値化した上で総合的に評価します。

5 その他

- ・ワークシートは教科担任が回収・点検し、全て評価点に加えます。正確な字で記入し、定期検査前の返却時に学習で使用できるように自ら意識して取り組むこと。また、提出物の期限は厳守すること。
- ・授業中の身だしなみや着座姿勢に注意して授業に臨むこと（生活習慣定着と学力向上のため）。
- ・日本史は「我が国・日本の歴史」です。他教科よりもより一層、漢字で書くことが重要視されます。漢字で記入や解答する事柄については、漢字で記入や解答をしてください。

6 年間学習計画

| 単元 | 主な学習活動（指導内容） | 学習内容に関する評価の観点 |
|------------------|--|---|
| 第1章 文化と国家の形成 | 1. 日本の旧石器文化 2. 縄文時代の社会と文化 3. 弥生時代の社会と文化 4. 小国の分立から倭国の形成へ 5. 大和政権の形成 6. 倭の五王と大和政権の勢力伸長 7. 氏姓制度と群集墳の出現 | ・日本の原始社会に関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 |
| 第2章 古代国家の確立 | 1. 飛鳥時代の政治と文化 2. 古代国家の形成 3. 律令の成立と白鳳文化 4. 平城京と律令政治 5. 奈良時代の社会と政治 6. 国家仏教と天平文化 7. 平安初期の政治と文化 8. 摂関政治の確立9. 国風文化の成立 | ・古代国家が東アジアの動向と関連して成立したことを考察使用としている。 |
| 第3章 中世社会の成立 | 1. 中世社会の土地制度 2. 武士団の成立 3. 院政と保元・平治の乱 4. 平氏の繁栄と治承・寿永の乱 5. 鎌倉幕府の成立過程 6. 承久の乱と執権政治 7. 地頭の荘園支配 8. 農工業の発達と流通 9. 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退 10. 鎌倉時代の仏教と文化 | ・武士が土地の所領関係で結びついていることや東アジアの動向が日本の歴史に大きな関わりを持っていることを理解している。 |
| 第4章 中世社会の展開 | 1. 建武の新政と南北朝の内乱2. 室町幕府の確立 3. 室町幕府の東アジアと日本 4. 南北朝時代の文化と北山文化 5. 室町時代の流通経済の 6. 惣村と一揆 7. 室町時代の衰退と戦国動乱 8. 戦国時代の政治と社会 9. 東山文化と地方への波及 | ・中世社会が二つの勢力に分かれて争っていることや千ヶ区大名の出現に関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 |
| 第5章 統一政権の成立 | 1. 大航海時代と日本 2. 織田信長の天下布武 3. 豊臣秀吉の全国統一 4. 豊臣政権の対外政策 5. 桃山文化 6. 江戸幕府の成立 7. 幕府と藩の支配体制 8. 鎖国と四つの口 9. 身分制と村・町の支配 | ・織田信長や豊臣秀吉による天下統一の過程や徳川家康の築いた江戸幕府のシステムの特徴について考察している。 |
| 第6章 幕藩体制の展開 | 1. 幕府政治の転換 2. 産業の発達 3. 交通と都市の発達 4. 町人文化と学問の発達 5. 享保の改革と田沼の政治 6. 商品経済の発達と社会の変化 7. 蘭学と国学の普及 8. 寛政の改革と異国船の接近 9. 大塩の乱と天保の改革 10. 民衆文化の発展 | ・幕藩制度が安定するときの特徴、幕藩制度の矛盾の出現の理由を理解しその知識を身につけている。 |
| 第7章 大日本帝国の形成 | 1. 開国と社会の変動 2. 尊王攘夷から倒幕へ 3. 明治維新と新政府の成立 4. 文明開化と復古 5. 地租改正と富国強兵 6. アジア外交と国境問題 7. 民権思想と国会開設運動 8. 私擬憲法と政党の結成 9. 松方財政と民権運動の激化 10. 大日本帝国憲法の制定 | ・開国から幕府の滅亡に至る過程、新政府の政策、欧米の文化・思想が日本の文化に与えた影響、国際環境の変化などに関心を持ち、意欲的に追求使用している。 |
| 第8章 大日本帝国の展開 | 1. 条約改正と立憲政友会の結成 2. 朝鮮政策と日清戦争 3. 日清戦争後の東アジア 4. 日露戦争と朝鮮 5. 朝鮮の植民地化 6. 産業革命と社会問題 7. 欧米文化と伝統文化の交錯 8. 大正デモクラシー 9. 第1次世界大戦 10. 第1次世界大戦後の世界 11. 日本資本主義の成長 12. 米騒動と社会運動 13. 普通選挙法と治安維持法 14. 大正デモクラシーと文化 | ・日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清、日露戦争と第1次世界大戦の経過やその欠点について考察している。 |
| 第9章 15年戦争と日本・アジア | 1. 侵略戦争への序幕 2. 満州事変と「満州国」3. 日中戦争 4. 第2次世界大戦と日本 5. アジア太平洋戦争 6. 戦時下の文化と国民生活 7. 日本の敗戦 | ・戦争に傾斜していく過程、戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解しその知識を身につけている。 |